

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【公開番号】特開2007-49685(P2007-49685A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2006-185860(P2006-185860)

【国際特許分類】

H 04 Q 9/00 (2006.01)

H 04 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 04 Q 9/00 301E

H 04 L 12/28 300Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月3日(2009.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

圧縮データを遠隔制御装置へ送信し、コマンドを遠隔制御装置から受信する無線インターフェイスと、

前記コマンドを受信し、前記コマンドに基づいて対象装置の動作を調整する制御モジュールと、

当該対象装置の動作を局所的に調整するユーザ入力インターフェイスと、  
を備える対象装置。

【請求項2】

前記無線インターフェイスが、IEEE802.11規格と、IEEE802.11規格の修正版である802.11a、802.11b、802.11g、802.11h、802.11n、802.16及び802.20と、Bluetoothとからなる群より選択されたプロトコルに準拠する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項3】

前記無線インターフェイスがストリーミングビデオデータを前記遠隔制御装置へ送信する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項4】

前記無線インターフェイスがストリーミングオーディオデータを前記遠隔制御装置へ送信する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項5】

前記無線インターフェイスがボイスオーバーインターネットプロトコル(VOIP)データを前記遠隔制御装置へ送信し、音声データを前記遠隔制御装置から受信する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項6】

ソース信号内のチャンネルを選局する第1のチューナー及び第2のチューナーと、  
ローカル出力装置と、

を更に備え、

当該対象装置は、前記第1のチューナーから前記ローカル出力装置へ信号を出力し、前

記第2のチューナーから前記遠隔制御装置へ信号を選択的に出力する、  
請求項1に記載の対象装置。

【請求項7】

第1の信号出力及び第2の信号出力と、  
ローカル出力装置と、  
を更に備え、

当該対象装置は、前記第1の信号出力と前記第2の信号出力のうちの一方を前記ローカル出力装置へ出力し、前記第1の信号出力と前記第2の信号出力のうちの他方を前記遠隔制御装置へ選択的に出力する、

請求項6に記載の対象装置。

【請求項8】

当該対象装置の前記信号出力のうちの少なくとも一方が、前記対象装置の状態情報、チャンネルガイド、及び、クローズキャプションからなる群より選択された信号出力を含む、  
請求項7に記載の対象装置。

【請求項9】

固有のネットワークアドレスを有する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項10】

前記制御モジュールが前記遠隔制御装置へ送信されるべきデータに関してデータ削減とデータ圧縮のうちの少なくとも一方を実行する、請求項1に記載の対象装置。

【請求項11】

前記遠隔制御装置でデータを局的にキャッシュする、請求項1に記載の対象装置。

【請求項12】

当該対象装置と前記遠隔制御装置のうちの少なくとも一方の性能に関係するデータを前記遠隔制御装置と交換する自動ネゴシエーションモジュールを更に備える、  
請求項11に記載の対象装置。

【請求項13】

前記データが、前記遠隔制御装置のメモリサイズ、前記遠隔制御装置によってサポートされる機能、前記対象装置によってサポートされる遠隔機能、前記遠隔制御装置のディスプレイサイズ、前記遠隔制御装置のディスプレイ解像度、前記対象装置の出力解像度、前記遠隔制御装置のキャッシュサイズ、及び、前記遠隔制御装置の処理能力よりなる群から選択された少なくとも一つのタイプを含む、  
請求項12に記載の対象装置。